

観光社会資本の事例

テーマ	宍道湖の原風景を思わせる湖岸堤
【施設の状況写真】	
	
	<p>宍道湖グリーンパークは宍道湖の自然を気軽に楽しむことを目的につくられた。自然の森、芝生広場、池と湿地、野鳥観察舎などの施設があり、緩傾斜の多自然型湖岸堤から宍道湖へとつながっている。宍道湖の原風景を思わせる多自然型湖岸堤には、四季を通じて70種類の野鳥が観察できる。</p>
【施設の利用写真】	
	 
<p>宍道湖の自然の紹介や自然観察会、環境学習の場として活用されている。</p>	<p>屋内から窓越しに宍道湖の水鳥が観察でき、四季を通じてバードウォッチングが楽しめる。</p>
【観光資源としての利用状況】	
	<p>多自然型湖岸堤は、宍道湖グリーンパークの一施設であり、また宍道湖全体でも貴重な親水空間となっている。グリーンパークでは、バードウォッチング、シジミ採り、自然観察会が定期的に行われ、毎年1万5千人が来園する。</p>

テーマ	宍道湖の原風景を思わせる湖岸堤
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 宍道湖グリーンパーク多自然型湖岸堤</p> <p>所在地 島根県出雲市園町地先</p> <p>事業名 河川環境整備事業</p> <p>事業主体 国土交通省、(財)ホシザキグリーン財団</p> <p>事業期間 平成7～8年(平成8年6月オープン)</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;">   </div> <div style="width: 65%;"> <p>学習機能</p> <p>地域の資源である宍道湖の自然を紹介し、地域に根ざした情報発信基地として機能している。隣接する宍道湖自然館「ゴビウス」は、汽水域、宍道湖・中海の生き物を展示する水族館で、このエリア一体が自然の学習施設となっている。</p> <p>水質浄化機能</p> <p>緩傾斜の堤防とそれに続く水際は、捨石を現地砂で覆土し、間伐材の基盤にヨシ植栽を行うなど、自然環境に配慮したものとなっている。ヨシ帯は栄養塩を吸着するとともに、ヤマトシジミなどの生物の生息場になることから水質浄化効果が期待できる。</p> </div> </div>	
<p>【位置図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 50%;">  </div> </div>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>ホシザキグリーン財団 http://www.green-f.or.jp/index.html</p>	